農 業 技 術 情 報

令和8年10月5日

ゆとりみらい21推進協議会指導部会

十勝普及センター十勝東部支所	015-572-3128
ＪＡ幕別町	0155-54-4118
ＪＡさつない	56-2131
ＪＡ帯広大正	64-4591
日甜幕別原料事務所	54-2756
幕別町農林課	54-6605

★各作物の生育・作業の遅速（幕別町１０月１日）（)内は平年値

作物名	遅速日数	生育および作業状況	生育期節
秋まき小麦	ー	は種始 9/16 (9/18)　は種期 9/24 (9/24) は種終 10/4 (10/2)	出芽期 10/2 (10/2)
馬鈴しょ	ー	収穫期　9/7 (9/7)　収穫終 9/26 (10/3)	
大　豆	早３	茎長 78.3 (76.0)cm 葉数 9.7 (9.7)枚 莢数 680.4 (661.0)個/㎡ 主茎節数 11.7(11.7)	成熟期 9/24(9/27)
小　豆	遅４	茎長 77.3 (64.5)cm　葉数 11.3 (12.3)枚 莢数 425.4 (372.2) 個/㎡ 主茎節数 12.3(13.3) 収穫始 9/17 (9/19)	成熟期 9/19(9/15)
菜豆（金時）	ー	収穫期 9/14 (9/13)　収穫終 9/24 (9/24)	
てんさい(移植)	早５	根周　46.0 (43.3)cm	
てんさい(直播)	早５	根周　37.4 (34.3)cm	
牧　草		収穫終　9/14 (9/17)	
飼料用とうもろこし		収穫期 9/17 (9/18)　収穫終 10/2 (10/2)	黄熟期 9/9 (9/9)

薬剤使用にあたっては、各部会や販売先等の基準に従ってください。
薬量および倍率は基準内に抑え、薬害やドリフトには十分注意してください。

畑　作

＜秋まき小麦＞

1 雑草対策

イネ科雑草を抑制できるのは秋期だけです。特に連作の場合はイネ科雑草の増加が懸念されます。

は種後出芽前の土壌処理が基本ですが、やむをえず処理できなかった場合も、出芽後の除草剤散布は必ず行いましょう（9/3 付農業技術情報表４および 9/17 付農業技術情報表２参照）。

＜てんさい＞

1 収穫

収穫作業は天候に留意しながら、製糖工場や関係農協等と協議して計画的に進めます。

2 地力の維持・増進

地力の維持・増進を図るため、ビートトップの鋤込みは収穫直後に行い、分解を促進させます。ただし、土壌水分が多いときなど、土壌の物理性を悪化させるような条件では無理して鋤込む必要はありません。

3 翌年の作付予定ほ場及び床土の準備

翌年にてんさいの作付けを計画しているほ場では、サブソイラ等による排水対策や土壌診断結果に基づく石灰質資材の投入など、適切な酸度矯正を行います。床土は、土壌水分を 30%程度とし、保管に当たっては被覆して凍結や雨水の浸入を防ぎます。

4 黄化病対策

黄化病（旧：西部萎黄病）の発生が見られたほ場では、ビートトップや掘り残し等の収穫後残渣物が翌春に周辺ほ場への伝搬の保毒源となりうるため、しっかりと鋤込み、土壌に埋め込みます。

また、媒介虫であるモモアカアブラムシがほ場周辺のハウス等で越冬できないような対策（ハウスビニールの除去や解放、雑草処理、野菜残渣の処理等）を行いましょう。

＜豆類＞

1 小豆の収穫

やむを得ず高水分収穫し、収穫物の水分が（18%以上）になる場合、コンテナ内での変質を防ぐため収穫後速やかに受け入れ先に搬入し、常温通風乾燥により乾燥します。

2 大豆の収穫

(1) 収穫適期

刈り取り時期および時間帯も汚粒の発生に影響します。刈り取り時期は子実水分が 20%以下（最適は 16%以下）の時とし、茎表面に「ぬめり」がある時は収穫を中止しましょう。朝夕は機体内に塵が付着し汚粒の原因となりやすいので避けましょう。また、刈り遅れも子実の外観品質に影響するので、適期収穫を心がけましょう。

＜緑肥のすき込み＞＜「緑肥用えんばくのいもち病」の対策について＞

9/17 付農業技術情報を参照。

野　菜

＜ながいも＞

近年、ながいもの乾物率が低い傾向にあります。「つる降ろし」や「つる切り」のタイミングが早いと乾物率が低く、収穫時の折れ、皮ムケの原因や食味の低下につながります。乾物率は【(低)15%未満】、【(中)15～17%】、【(高)17%以上】とされています。

茎葉の黄化程度やいもの尻部状態に応じて、つる切り日を判断してください。

1 つる降ろし・つり切り

・実施前に試し掘りをし、尻部が丸く硬くなっていることを確認してから行ってください。

・「つる降ろし」や「つる切り」は、茎葉が黄変した後に実施してください。黄変前のつる切りは未熟いもの原因になるため注意してください。

日没が早まり、視界もすぐに悪くなります

～薄暗がりでは機械の周辺で作業する人が見えにくくなります～

～クラクションを鳴らし、周囲に合図をしてからゆっくり発進するようにしましょう～

★公道通行時は早めにライトを点灯し、「夜光反射板」や「低速車マーク」を装着しましょう。

★収穫機の調整や詰まりものの除去は、必ずエンジンを停止してから作業しましょう。

★衣服の袖口や裾はボタン、ファスナーを止めて身体に密着させましょう。

★靴やステップは泥の付着により滑りやすくなるため、乗降時は十分に注意しましょう。

